

事務事業名	(福)かしの里めむろ設備整備資金支援事業		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画上の主要事業	法令根拠	
政策名	総合計画体系 0:6 1:7 3:3:4:2	誰もが自立し、社会参加できる福祉環境づくり		所属部門	住民福祉 部 保健福祉 課 福祉 係(グループ)
施策名		障害者の自立と社会参加の促進		課長名	江口 久子
基本事業名	社会参加の促進と自立対策の推進		予算科目	会計 款 項 目 事業	0:1 0:3 0:1 0:6 1:2 社会福祉法人活動支援事業
全庁共通課題	<input type="checkbox"/> 協働のまちづくり <input type="checkbox"/> 男女共同参画 <input type="checkbox"/> 食のまちづくり				
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 <input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 全体計画の投入量を記入 (開始年度 年度 ~) (平成15年度 ~ 平成24年度)				

事業概要 知的障害者通所授産施設の整備をおこなった社会福祉法人柏の里めむろが施設設置の際に借り入れた施設整備資金を町が債務負担し、その償還額を補助する。	全体計画	(単位:千円)
	事業費	特定財源
		一般財源
		その他
	人件費	事業費計 (A)
		正規職員従事人数
	人件費計 (B)	
	トータルコスト(A)+(B)	

1 現状把握の部 (DO)	
(1) 事務事業の目的と効果 手段(具体的な事務事業のやり方、手順、詳細)	
16年度実績 償還約定書に沿った法人からの補助金交付申請に基づき、その償還金額を補助金として支出する	活動指標(事務事業の活動量を表す指標)数字は記入しない
17年度計画 平成16年度と同様に行う	名称 単位
対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等 社会福祉法人柏の里めむろ入所者	ア 補助金額 千円
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 知的障害者通所授産施設の設備の充実	イ
結果(どんな結果に結び付けるのか) 知的障害者通所授産施設の施設運営の円滑化を図る。	ウ
	対象指標(対象の大きさを表す指標)数字は記入しない
	名称 単位
	ア 施設通所者数 人
	イ
	ウ
	成果指標(対象における意図された対象の程度)数字は記入しない
	名称 単位
	ア 継続して通所した人数 人
	イ
	ウ
	上位成果指標(結果の達成度を表す指標)数字は記入しない
	名称 単位
	ア 利便性が向上したと感じた人数 人
	イ
	ウ

(2) 総事業費・指標等の推移								
	単位	14年度 (実績)	15年度 (実績)	16年度 (実績)	17年度 (見込)	18年度 (目標)	19年度 (目標)	24年度 (最終目標)
投入量	事業費	千円	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	3,800	4,004	4,164	4,119	4,074	3,845
	その他	千円	0	0	0	0	0	0
	事業費計 (A)	千円	3,800	4,004	4,164	4,119	4,074	3,845
	人件費	人	2	2	2	2	2	2
	正規職員従事人数	年間	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000
人件費計 (B)	千円	0	0	0	0	0	0	
トータルコスト(A)+(B)	千円	3,800	4,004	4,164	4,119	4,074	3,845	
活動指標	ア 千円	3,800	4,004	4,164	4,119	4,074	3,845	
	イ							
	ウ							
対象指標	ア 人	30	30	30	30	30	30	
	イ							
	ウ							
成果指標	ア 人	30	30	30	30	30	30	
	イ							
	ウ							
上位成果指標	ア 人	30	30	30	30	30	30	
	イ							
	ウ							

(3) 事務事業の環境変化・町民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か? アットホームめむろの社会福祉法人化及び知的障害者通所授産施設開設の支援のため。	事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期と比べてどう変わったのか? 通所希望者の増加により待機者が増えており、分場の開設が検討されている。
この事務事業に対して関係者(町民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか? 特になし。	

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	政策体系との結びつき この事務事業の目的は町の政策体系に結びつくか？意図することが上位施策に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びつかない [理由] 3 改革・改善方向の部へ <input checked="" type="checkbox"/> 結びつく [理由] ↷	施設整備資金の借り入れに対しその償還金を補助することによって、施設設備の充実と施設通所者の利便性の向上につながる。
	公共関与の妥当性 なぜこの事業を町が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 手が引ける [理由] 3 改革・改善方向の部へ <input checked="" type="checkbox"/> 手が引けない [理由] ↷	町内在住者を中心とした町内唯一の知的障害者通所授産施設の施設整備資金の借り入れで、町の障害者福祉施策としても補助は必要である。
	対象・意図の拡大又は縮小余地 対象と意図の拡大・縮小の余地はないか？(拡大による成果向上、限定・縮小による公的関与の適正化やコスト削減はできないか)	<input type="checkbox"/> 余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部へ <input checked="" type="checkbox"/> 適切である [理由] ↷	10年間18回の償還約定書に基づき町が債務負担し、その約定償還額を補助するものであり対象者及び意図は適切。
	成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input type="checkbox"/> 余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部へ <input checked="" type="checkbox"/> 余地がない [理由] ↷	10年間18回の償還約定書に基づき町が債務負担し、その約定償還額を補助するものであり成果を向上させる余地はない。
	廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無と有の場合の問題解決策	<input type="checkbox"/> 影響無 3 改革・改善方向の部へ <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 【具体的な影響】 ↷ 【問題解決策】 3 改革・改善方向の部へ	10年間18回の償還約定書に基づき町が債務負担し、その約定償還額を補助するものであり事務事業の廃止・休止は不可能。
有効性 評価	類似事業との統廃合余地 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合余地はないか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ↷ (具体的な手段, 事務事業) <input type="checkbox"/> 上記他に手段等の統廃合が可能 3 改革・改善方向の部へ <input type="checkbox"/> 上記他に手段はあるが統廃合できない ↷ [理由]	10年間18回の償還約定書に基づき町が債務負担し、その約定償還額を補助するものであり他の手段はない。
	全庁共通課題の貢献 全庁共通課題の解決に対してこの事業はどんな貢献をしましたか？	<input type="checkbox"/> 貢献した ↷ 【具体的に】 <input type="checkbox"/> 貢献していない ↷ 【全庁共通課題にもかかわらず貢献していない場合はその理由】	
効率性 評価	事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(工法の適正化など)事業費を削減した場合の影響の有無と、問題解決策	<input type="checkbox"/> 影響無 3 改革・改善方向の部へ <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 【具体的な影響】 ↷ 【問題解決策】 3 改革・改善方向の部へ	10年間18回の償還約定書に基づき町が債務負担し、その約定償還額を補助するものであり事業費の削減は不可能。
	人件費(業務所要時間)の削減余地 成果を下げずに所要時間を削減できないか？成果を下げずにより低賃金の担当者で遂行できないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 可能 3 改革・改善方向の部へ <input checked="" type="checkbox"/> 不可能 [理由] ↷	10年間18回の償還約定書に基づき町が債務負担し、その約定償還額を補助するものであり最低限の事務処理のため削減は不可能。
公平性 評価	受益者負担の適正化余地 受益者負担と一般財源が公平・公正な配分になっているか？	<input type="checkbox"/> 適正化余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部へ <input checked="" type="checkbox"/> 適正化余地がない [理由] ↷	10年間18回の償還約定書に基づき町が債務負担し、その約定償還額を補助するものであり適正化の余地はない。

3 改革・改善方向の部(PLAN)

(1)今後の事業の方向性(改革改善案) <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的絞込み <input type="checkbox"/> 目的拡充 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 予算増大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(3)改革・改善による期待成果																						
10年間18回の償還約定書に基づき町が債務負担し、その約定償還額を補助するものであり改革・改善の余地はない。	<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">成果</td> <td style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">向上</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上			×	維持				低下		×	×	
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上			×																			
	維持																						
低下		×	×																				

(2)改革, 改善を実現する上で解決すべき課題は何ですか？それをどう解決していきますか？

町が施設の資金借り入れに対しその償還額を債務負担しているため、改革・改善の実現は不可能であり、課題や解決策はない。